

競技注意事項

- 競技規則について
本大会は2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則・(公社)日本マスターズ陸上競技連合競技規則を適用し並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
- 練習会場等について
 - 本競技場での練習は禁止する。
 - 練習場所は、競技場正面駐車場の一部やバックスタンド上部をウォーミングアップ場とする。
 - 投てき練習は助走やターン練習のみとし、如何なる場所でも練習は禁止とする。
 - 事故には十分留意すること。(実業団と同時開催の為、安全に留意すること)
- 招集について
 - 招集場所は、100mスタート後方のゲート側付近に設ける。
 - 招集時間開始・完了時間は、競技順序に記載した通りとする。
 - 招集の方法
 - 競技者は、招集開始時刻に招集場所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスユニホーム・競技用シューズの厚さスパイクピン及びシャツやバッグの商標について点検を受ける。
 - 携帯電話等、競技規則TR6に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - 競技者の衣類、物品を含むすべての広告物については『競技会における広告物および展示物に関する規程』が厳格に適用される。
 - 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に出場する競技者は招集時に申し出る事。
 - 招集完了時刻までに点呼を受けない競技者は、当該種目を棄権したと処理し出場を認めない。

4. アスリートビブスについて

- アスリートビブスは所属連盟の所定のもの必ず、胸背に付ける事。但し、跳躍競技の競技者は胸または背だけでよい。
- トラック競技者は、腰ナンバーカードを受取り、右腰や後方に付ける。シャツはパンツの中に入れて競技する。

5. シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク・ランニングシューズ含む)についてはWAテクニカルルールTR5を適用する。
スパイクの先端が鋭利なものは使用してはならない。
スパイクピンについて、数は11本以内、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投げは12mm以下とする
靴底の最大の厚さは下記の通りです。

フィールド種目(除:三段跳)	20mm
三段跳	25mm
トラック種目 (ハードル種目、800m以上の種目)	20mm
トラック種目 (障害物競技、800m以上の種目) (競歩競技)	25mm 40mm

6. 競技について

(1) トラック競技

- 一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。
- レーン競技では、競技者安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り与えられたレーンを走る事。
- 全てタイムレースとする。同クラスで同タイムの場合は、生年月日が早い競技者が上位とする。
- ハードル競技におけるハードルの高さ基準

	競技クラス	種目	高さ	間隔	第1ハードルまで	フィニッシュまで	ハードル台数
男子	M-24~M45	400mH	0.914m	35.00m	45.00m	40.00m	10
男子	M50~M55	400mH	0.840m	35.00m	45.00m	40.00m	10

(2) 障害物競技における障害物高さ基準

	競技クラス	種目	高さ
男子	M-24~M55	3000mSC	0.914m

(2) フィールド競技

- 競技用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具については検定の上、私物の物を許可する。検定後は一括借り上げとし、参加競技者間で共有できるものとする。棒高跳用のボールの検定は競技場内で、投てき用具の検定は、当日の正午まで正面入口脇で行う。(時間厳守)検定を受けない器具(不合格も含む)は競技場内に持ち込んではいけない。
- フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 三段跳の踏切位置は男子は13m. 11m. 9m. 7m女子は11m. 9m. 7m. 5mとする。ただし、審判長の判断により変更する場合がある。
- 走高跳・棒高跳のバーの上げ幅は下記の通りとする。ただし、審判長の判断により変更する場合がある。

走高跳のバーの上げ方基準				棒高跳のバーの上げ方基準			
クラス	練習の高さ	開始の高さ	上げ幅	クラス	練習の高さ	開始の高さ	上げ幅
M-24~M35	1.35m	1.40m	5cm刻み	M-24~M35	2.60m	2.70m	10cm刻み
M40~M45	1.25m	1.30m		M40	2.40m	2.50m	
M50~W24-~W30	1.20m	1.25m		M45	2.30m	2.40m	
M55~W35	1.10m	1.15m		M50	2.10m	2.20m	
M60~M65	1.00m	1.05m		M55	1.90m	2.00m	
M70~W40	0.95m	1.00m		M60	1.70m	1.80m	
W45~W50	0.85m	0.90m		M65~W24-~W35	1.60m	1.70m	
W55~W60	0.80m	0.85m		M70~W40	1.50m	1.60m	
W65~W75	0.70m	0.75m		M75~M90~W45	1.40m	1.50m	
W80+	0.60m	0.70m		W50~W55	1.30m	1.40m	
			W60~W80	1.20m	1.30m		

- 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動の申告は現地の競技役員に行う。

⑥ 投擲競技における用具の使用基準は次の表による。

	競技クラス	砲丸・ハンマー	円盤	やり
男子	M-24～M45	7.26kg	2.0kg	800g
	M50・M55	6.0kg	1.5kg	700g
	M60・M65	5.0kg	1.0kg	600g
	M70・M75	4.0kg	1.0kg	500g
	M80+	3.0kg	1.0kg	400g
女子	W-24～W45	4.0kg	1.0kg	600g
	W50・W55	3.0kg	1.0kg	500g
	W60～W70	3.0kg	1.0kg	500g
	W75	2.0kg	0.75kg	400g
	W80+	2.0kg	0.75kg	400g

- (3) ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。
7. 競技の番組編成について(レーン順・試技順)
- ① レーン順及び試技順は、プログラム記載通りとする。
8. 表彰賞状は後日郵送する。
9. 一般連絡・注意事項
- (1) 本大会に於いての疾病、傷害事故は主催者において応急処置はするが、その後の処置については本大会で加入したエイル傷害保険の範囲とする。(健康保険証の持参が望ましい)
- (2) 貴重品は、各自で管理すること。遺失物については、本部で保管する。
- (3) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。
- (4) プログラムおよび競技結果は、アスリートランキングに掲載する。
- (5) プログラムの訂正の申し出は、競技者受付場所にある用紙に記入し総務に提出すること。
- (6) 競技場の会場は7時00分、競技者受付は7時30分を予定している。
- (7) 本競技場における競技者待機場所は、サイドスタンドやバックスタンド下段や場外植え込み場所とする。
- (8) その他必要なことは、その都度通告するので場内放送に注意すること。

お 願 い

各自のゴミは必ず持ち帰ってください。